

観 光/専門科目

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
観光学概論A	観光学入門	高柳 直弥	1 年次前期
講義の目的	人が国境を越えて自由に移動することは、政治的・経済的・文化的に様々な影響を及ぼすため、日本をはじめとする各国においても外国人の来訪を促進しています。本講義では、観光と文化・社会との関わり、並びに現在の観光産業が直面する諸問題を考察していきます。		
到達目標	観光・旅行業、関連産業に進む予定の学生の基礎教養を養う。具体的には、現代観光の動向を把握し、観光形態や旅行者、生活者の意識の変化について理解し、説明できるようになる。		
内容講義	観光は、21 世紀の基幹産業といわれています。本講義では、歴史・理論・政策等の視点から観光に迫ります。特に観光に関する基礎理解を深め、将来の仕事に活かせるよう配慮します。		
講義スケジュール	第 1 講	オリエンテーションと観光の定義	
	第 2 講	観光とは何か：世界と日本の観光の現状を知る	
	第 3 講	旅と観光の歴史（1）：旅の文化史	
	第 4 講	旅と観光の歴史（2）：日本の近代以前の観光	
	第 5 講	旅と観光の歴史（3）：日本の近代観光	
	第 6 講	観光と航空（1）：観光交流における航空輸送業の役割とは	
	第 7 講	観光と航空（2）：航空輸送業の経営について	
	第 8 講	観光と鉄道（1）：観光交流における鉄道の役割とは	
	第 9 講	観光と鉄道（2）：鉄道事業の経営について	
	第 10 講	わがまちの観光資源	
	第 11 講	観光と宿泊業（1）：ホテルの歴史と機能	
	第 12 講	観光と宿泊業（2）：宿泊業に関連する法整備と観光立国	
	第 13 講	旅行業の役割	
	第 14 講	多様化する観光対象	
	第 15 講	観光と地域づくり	
方法指導	観光を体系的に把握、理解します。副次的に新聞やテレビ番組等よりトピックを取り上げて、観光と経済の関連と、その波及効果について解説し、理解を深めます。なお、受講生の人数や関心、理解度に応じて計画を若干変更する場合があります。積極的に学ぶ意欲のある人を歓迎します。		
授業外学習	【事前学習】 シラバスを参照の上、テキスト該当ページを熟読し、未修の用語等について調べておくこと。 【事後学習】 講義中に配布するプリントの内容を再整理すること。		
成績評価方法	【平常点】（小テスト：30%、授業内課題：20%）、【本試験】（レポート）：50%。		
テキスト	太田 実・中島 智編『新・観光を学ぶ』八千代出版、2017 年。		
書籍参考			
事項記	なし		